

11月19日 企画例会「外部卓話」「マイクンバー制度について」

宇部市役所 ICT 推進課長・河村真治さん他1名

ローリー財団月間に因んで

2017年にローリー財団創設100周年になります、ローリー財団の父アーチ・クランフの「小さなひらめき」の話をしなければと思います。

1869年(明治2年・146年前)にペンシルベニア州・カヌービル^{Canonsville}の貧しい家庭に生まれ家計の足しにするために12歳で学校を辞めて仕事に就いた。16歳の時、ケル^{Kellogg}材木会社の使い走りになった。夜間学校に入学し、1日の大変な仕事の後、電車賃を節約するために片道4マイルの距離を歩いて学校に通った。会社の経営が危なくなった時ケル^{Kellogg}材木会社は、クランフをマネージャーに昇格した。彼は会社の経営を好転させアメリカ中西部の、材木業界で、最も収益性の高い企業の1つにまで発展させた。その後、同社を購入し、さらに銀行や汽船会社など数々の企業の社長や副社長に就任した。1911年(41歳)「材木卸売ならびに小売」の職業分類でクリブランド・ローリー・クラブ^{Cleveland-Lorrie Club}の創立会員となった。1912年には、クラブ会長になり(43歳)、1916-17年度、国際ローリー・クラブ連合会・会長になった(47歳)。1917年、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された国際大会でローリーが基金をつくり全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で「何かよいことをしようではないか」と提案しました。ローリー基金への、最初の寄付は、1917年、ミズーリ州、カンザスシティ・ローリークラブからの26ドル50セントでした。今日のレートで計算すると、約3,000円というところですが、今から約100年前のことです。現在の、物価に換算すると、どのくらいの金額になるのでしょうか。アメリカと日本の違いもあり、単純に換算することは難しいのですが、アメリカでは、約20倍とされています。約6万円位ですか？日本では、1910年に建てられた学校の校舎は、5300円かかったそうです。当時学費が24円とか。しかし、数年が経っても基金の残高はやっと700ドルに達したに過ぎなかった。基金総額が5,739ドル7セントに達した時1928年の、ミア・ポール^{Mrs. Paul}国際大会で名称をローリー財団と改め国際ローリーと、別に管理することが規定されました。1929年の、株価暴落後、(世界大恐慌)さまざまな慈善活動に対する寄付金が枯渇するようになった時。ポール・ハリスがローリー財団に最初の拠出を要請しました。「国際障害児協会」のために500ドルの小切手を送った。とあります。ローリー財団の発展の礎となったのは1947年1月27日に、ポール・ハリスがイリノイ州ソゴ^{Sage}の自宅で亡くなりました。ポール・ハリスの逝去で寄付が国際ローリーに相次いで寄せられるようになりました。財団はポール・ハリス記念基金を設けポールに敬意を表したいローリアンに対して財団強化のために寄付するよう要請しました。翌年の7月までに、130万ドル以上が寄付され永年の目標である200万ドルの寄付が集りました。1947年には最初の財団プログラムが実現されました。それは、「高等・研究・奨学金」と呼ばれるもので、アメリカ、ベルギー、イギリス、フランス、メキシコ、中国の18人の若い人たちが選ばれ、他国でそれぞれの専門分野を勉強しました。当時は、この人たちはポール・ハリス・フェローと呼ばれていました。最初の国際親善奨学生でした。その後、教育プログラムに・人道的プログラムに・このローリー財団は貢献しています。アーチ・クランフは1951年に亡くなったが(82歳)。ローリー財団は多くのローリアンによって、大きく花開くことになりました。特に、日本のローリアンの、役割は、ローリー財団の大きな支えになっています。ローリー財団に寄付をするとき、ローリー財団の資金を使って、さまざまな、奉仕活動をするとき、アーチ・クランフの「小さなひらめき」が、その第一歩であったことを思い出してください。